

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	地球環境パートナーシッププラザ運営	事業開始年度	H8年度	作成責任者		
担当部局庁	環境省総合環境政策局	担当課室	環境経済課民間活動支援室	民間活動支援室長 岡本 光之		
会計区分	一般会計	上位政策	環境・経済・社会の統合的向上			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律第19条	関係する計画、通知等	環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本的な方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球環境パートナーシッププラザ及び環境パートナーシップオフィスを拠点として、内外でのパートナーシップでの取組の進展に応じ、NGO、企業等各主体間のネットワークの構築、情報や意見の交換の場づくりを行うことにより、パートナーシップの形成を促す。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	パートナーシップ促進のために重要な課題について、セミナー・ワークショップの開催、関係団体と協力した調査・普及活動の実施、書籍・報告書等の収集、整理、提供、施設やサービスの提供の運営などを行うとともに、関東環境パートナーシップオフィスとして、関東地域におけるパートナーシップ促進のための事業を実施する。					
実施状況	地球環境パートナーシッププラザにおいてホームページを運用し、21年度は530万件のアクセス数があり、前年度より60万件ほど増加し、また、展示スペースの見学者やライブラリースペースの利用者が21年度は2万1千人あり前年度よりも2千人ほど増加するなど、価値ある環境パートナーシップに関する情報の発信及び各主体の協働に関する情報の収集・提供に努めた。更に各種セミナー、政策勉強会、シンポジウムを開催した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	102	92	89	88	
	執行額	79	77	72		
	執行率	77%	84%	81%		
	総事業費(執行ベース)	79	77	72		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	原則毎週開催されるスタッフミーティングや毎月提出される月次報告書を通じ、事業の進捗状況を把握している。国連大学と環境省の関係者により構成される共同運営委員会や、様々なステークホルダーにより構成される運営委員会においても、事業の進捗を確認し方向性を決定している。さらに、毎年度末に、当該年度の実施業務について外部委員による評価を行い、その結果を翌年度の運営業務に反映させるよう努めている。				
	見直しの余地	本事業は環境省と国連大学の共同事業であるが、これまで国内向けの事業に重点を置いて実施してきており、海外と連携した事業実施や情報の受発信を一層強化することが課題となっている。				
予算チームの監視・所見率						
補記						

環境省
72百万円

〔地球環境パートナーシッププラザ運営に関する全体統括〕

【国庫債務負担行為】

C.富士通エフアイピー(株)
3百万円

地球環境パートナーシッププラザ／環境パートナーシップオフィスにおける内外の環境NGO・地方公共団体・企業や来館者への情報提供用のパソコンや館内LANを構築するための機器の借り上げ及び運用支援

【随意契約】

D.中央三井信託銀行(株)
19百万円

コスモス青山ビル内に環境省民間活動支援室を設置するための賃貸借契約

【随意契約】

E.国連大学
2百万円

〔地球環境パートナーシッププラザの清掃業務〕

【随意契約】

G.(株)コスモス青山
0.5百万円

〔コスモス青山ビル内の環境省民間活動支援室の清掃業務〕

【随意契約(3年契約の初年度は企画競争)】

A.環境パートナーシップ会議
43百万円

セミナー・ワークショップの開催、関係団体と協力した調査・普及活動の実施、書籍・報告書等の収集、整理、提供、施設やサービスの提供の運営などを行うとともに、関東環境パートナーシップオフィスとして、関東地域におけるパートナーシップ促進のための事業を実施

【一般競争入札】

B.(財)環境情報普及センター
3百万円

地球環境パートナーシッププラザにおいて公開中のホームページ等の管理・運営において、環境情報のコンテンツ作成、加工、掲載、それに伴うシステムの運用等

【少額随意契約】

F.(財)環境情報普及センター
1百万円

NGO/NPO・企業・行政等の環境パートナーシップ形成を促進するための交流広場として各主体の情報や意見の交換を行う環境らしんばんシステムの運用

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.環境パートナーシップ会議			E.国連大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	プラザ運営管理請負業務	43	雑役務費	清掃請負業務	2
計		43	計		2
B.(財)環境情報普及センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ホームページの運用・更新請負業務	3			
計		3	計		0
C.富士通エフアイピー(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借損料	情報提供用のパソコンや館内LANを構築するための機器の借り上げ	3			
計		3	計		0
D.中央三井信託銀行(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	コスモス青山B2F民活室借料	19			
計		19	計		0